

フライング ディスク競技の紹介



「フリスビー」の名前で親しまれていますが、正式名称を「フライングディスク」といいます。昔、アメリカのエール大学の学生が「フリスビーベーカー社」の金属の皿を投げて遊んだのが起源の一つと考えられています。競技として確立した現在では、投げても安全なプラスチックのディスクに変わりました。

「フライングディスク競技」は、ディスク1枚あれば、いつでもどこでも誰とでも安全に楽しめるスポーツです。日ごろスポーツをすることが少ない人でも比較的簡単に取り組むことができます。

「あいち障害者フライングディスク協会」では『飛べ フライングディスク みんなの夢のせて』を大会スローガンとして掲げ、「あいち障害者フライングディスク競技大会」を年1回11月に、愛知県体育館で開催しています。本大会で行う競技は、「アキュラシー」と「ディスタンス」です。

障害のある方で、これからスポーツを始めたい方、または運動する習慣が少ない方、運動したことがない方におすすめです！

【ディスタンス】

ディスクを3回投げてどれだけ“遠くへ”投げられるかを競う競技です。

【アキュラシー】

標的のアキュラシーゴールをめがけ、ディスクを10回連続して投げてゴールを通過した回数が得点になります。“正確さ”を競う競技です。

ゴールまでの距離で、ディスリート・ファイブ(5m)、ディスリート・セブン(7m)の2種目があります。

※初心者向けのオープン競技としてディスリート・スリー(3m)もあります。(あいち障害者フライングディスク競技大会オリジナル競技)



参加申込・お問い合わせ

あいち障害者フライングディスク協会

〒462-0833 名古屋市北区水切町5丁目7番地の2

FAX052-991-1727 URL : <http://afad.sakura.ne.jp> Email : info@afad.sakura.ne.jp

(お問い合わせは E-mailかFAXでおねがいします)

あいち障害者フライングディスク競技大会の様子

過去の大会 in 愛知県体育館

あいち障害者フライングディスク協会では、毎年11月、愛知県体育館で「あいち障害者フライングディスク競技大会」を盛大に開催します。選手約800名、ボランティアスタッフ約500名を迎え、障害者スポーツの地方大会としては、全国でも最大規模の競技大会です。



アキュラシー競技



写真提供：中日新聞社



ディスタンス競技



会場風景



名物バンザイ表彰



スタッフによる選手の歓迎



毎年デザインが異なるメダル



スペシャルゲストによるイベントタイム



愛知県立松陰高校 和太鼓部



中部大学春日丘高校 吹奏楽部



大会を支える500名のボランティアスタッフ



あいち障害者フライングディスク協会